

[illegible][illegible]

葉に毛が密生しているのが特徴。花は5月頃咲き、クリーム色から赤紫色に変わる。

雑木林を彩るカタクリ

切欠のカタクリは、郡内有数の群生地で、毎年一万数千の花が咲くが結実するものは少なく一割程。雑木林が利用されていた頃は林の縁にあったという。林に人が入らなくなると林内に増えてきた。雪国から来た人は「花は小さいし色は淡いね」などと話していたが 2001 年3月末の積雪では切欠のカタクリが雪国と同じように見えた。

苔の自然を伝える神社の森

雨宮主神社は、秋川丘陵の190 mの高さにあり、北面にスギ・ヒノキが多く広い境内を持つ。ミミ・ツガの大木もありツガの密度の高いところもある。丘陵でのツガ林は郡内ではここだけで神域として長年守られてきた。

馬頭刈尾根の東にある高高山には、神社跡までの参道に100 m以上にわたリスギ・ヒノキ・モミの大木の並木があり、高さ750 m付近にはブナが数本ある。ブナは山地を代表する木で、この付近がブナ林だったとも考えられる。

ツガ

ブナ

みくり池
ミクリは「実業」と書くが実は粟というより「こんべいとう」のようだ。

荒田の入
宮田東
下の川
草壁の水
嵐点施設
トイレ、水がある。伊奈石も置いてある。
大慈願寺
だまりでは冬でタチツボスミレが咲いている
刈られると花期が長くなりやすい。

※武蔵増戸駅から歩いて 25 分

ハンノキ
湿地に生える木で昔は構沢入にたくさんあったと思われるが、今は一本だけある。

ハルニレ
北国に多い木。(高尾公園には直径 60cm の大木がある)

構沢入のカヤネズミの餌材は、イネ科植物の他、ガマやミクリも使う。なかには香りの強いシヨブで作った餌もある。

シヨブの葉を葉巻に似た丸く煮たもの

武蔵増戸駅へ

以前あったカワラナデシコとワレモコウ

ユウガギク
キショウブ
タチツボスミレ
誰かが植えたらしいキショウブが増えている。

ミソソバ
ツリフネソウ
伊奈石の加工場跡の石の隙間には、ヘビヤネズミなど生き物のすみかになっている。原始的な虫のガロアムシも見つかる。

ガロアムシ

さ15mの穴ができた。水がたまるのでモリアオガエルが木の枝に卵を産む。水面までの高さは10m以上。

天山山310m
三内神社

まっすくな尾根道

杉の太木の穴に、昔はブッホウソウが巣を作っていたが、今はムササビがいる。

武蔵五日市駅へ

花ごよみ

3 4 5 6 7 8 9 10 11

- シュンラン
- カントウタンボポ
- タチツボスミレ
- ヤマサクラ
- フジ
- ドクダミ
- ノアザミ
- ユウガクキ
- アキノタムラソウ
- オカトラノオ
- ヤブカンソウ
- ネム
- オグルマ
- ノハラアザミ
- ススキ
- クズ
- ツ
- ヒガ
- ミシ

横沢入のオグルマは花弁が短い。

横沢入では、この他にネコノメソウ、チダケサシ、ガマ、ハッカ、コハギボウシ、イヌゴマなどが湿地に咲いている。かつてはカワラナデシコやレモコウもあった。

市内の川原で出

心溪谷 盆塘

一度は行きたい身近な溪谷 **盆堀川流域**

リヨセウツギ 一度は行きたい身だ

刈寄山で発見さ

横沢入は、2006 年に東京都初

すすめの曲

植物界